

国立大学法人 九州工業大学
第28回 歯工学連携講演会

ナノ医療のための生体機能を模倣した
マイクロシステムの創成

Dr. Yong Tae (Tony) Kim

Georgia Institute of Technology



ロボット技術を用いた次世代バイオ
医療機器の開発

川原知洋 准教授

九州工業大学生命体工学研究科
若手研究者フロンティア研究アカデミー



日時: 2014年5月22日(木) 10:30-12:00

場所: 九州工業大学

戸畑キャンパスC-3C講義室

近年、再生医療や創薬分野において生体の機能や動態をより詳細に調査し理解するために、生体内(in vivo)の機能を部分的に生体外(in vitro)で模擬し、その環境下で組織や細胞を培養しながら刺激や計測を行う方法の確立が求められています。本セミナーでは、機械工学の観点から微細加工、マイクロ流体チップ、マイクロロボットなどの技術を有機的に統合し、単一細胞レベルでの刺激や計測を行っている先端的な取り組みについてご紹介します。

問い合わせ先: 竹中 (093-884-3322)